

押小だより

てんしんらんまん

天真爛漫



令和6年11月8日
さくら市立押上小学校
令和6年度 第9号
文責：仁平 博幸

みんなで輝く全力の運動会に感動と感謝

10月26日（土）、今年度の運動会を実施しました。当日は、多くのご来賓と多くのご家族、地域の方々にお越しいただき、子どもたちへの声援、拍手等を頂戴しました。改めて、お越しいただいた全ての皆様に感謝申し上げます。

前回の学校便りでもお知らせしましたとおり、私は運動会を実施するに当たり大切にしたいことがありました。それは、子どもたちが「全力」で取り組むということです。「全力の運動会」は、自分も、みんなも、見ている人も感動し、達成感とともに「幸せ」を感じるものになる。そして、全力を出している一人一人全員が輝き、みんなで作り上げる運動会になると思ったからです。そして、このことは、私の思い描く学校の姿である「だれもが安心して力を出し、みんなが幸せを感じる学校」そのものだからです。

運動会を週末に控えた10月21日（月）から全体練習を行いました。練習開始時刻前に入場門に全員が集まり座っている様子、応援団長の号令と子どもたちの「お願いします」のあいさつなどの姿から、子どもたちの真剣さが伝わってきました。また、6年生による開会式、閉会式の練習は休み時間も行き、努力を積み重ねていました。

子どもたちは、まさに練習から「全力」を意識して運動会に臨んでいることを実感し、とてもうれしく感じていました。



26日（土）、運動会当日を迎えました。前日の会場準備では、高学年の子どもたちが一生懸命に取り組み、自分たちで会場を作り上げていました。

そして、花火の合図とともに運動会が始まりました。開会式、そしてラジオ体操から演技が始まり、最後の上学年のラリー、そして閉会式。

どの競技・演技においても、子どもたちが全力で取り組む様子が見られました。また、高学年児童は係の仕事、また1～4年生も応援などに全力を出していた姿が見られました。私は、そのような子どもたちの「全力」の姿を見ていて、本当に「うれしさ」と「感動」、そして「幸せ」を感じました。

そして、なんといっても最高学年、小学校最後の運動会を一生懸命に「全力」で取り組んだ6年生の姿に感動をもらいました。開会式、閉会式での所作、返事、言葉・スピーチなどは本当に見事でした。

練習から感心、感動していた私は、閉会式後、本当にうれしく幸せな気持ちで一杯でした。

私は、開会式での校長の話で次のようなこととお話ししました。

児童のみなさん、今年度の運動会のスローガンは「みんなで輝く！全力押小オリンピック」です。今日は、ここにいるみなさん一人一人が全力を出し、自分も・みんなも・見ている人も感動し、『幸せ』を感じる運動会」となるように、そして、夏のパリオリンピック・パラリンピックを超える、「押小オリンピック」となることを期待しています。「輝く」「全力」「幸せ」の運動会となるよう、がんばってください。

子どもたちは、まさに、スローガンのとおり「全力」を出し切り、「みんなで輝く運動会」、パリオリンピック・パラリンピックを超える運動会、そして、みんなが「幸せ」を感じる運動会となったと思っています。

改めて、ご来校いただいた全ての皆様に感謝申し上げますとともに、すばらしい運動会を作り上げた全ての子どもたち、本校職員に感謝しています。「全力」のすばらしい運動会を本当にありがとう。

（仁平博幸）

押上小運動会2024 思い出のワンシーン



◎運動会以外の10月の学校の様子をご紹介します。

10月29日(火)

○花育活動

花の生産や管理について専門家の方からお話を伺い、一緒に学校花壇に花苗を植えました。



※上の「花育活動」は、県に協力いただき、花苗を生産している方をお招きして行う緑化活動です。花苗も提供いただいています。感謝申し上げます。

10月29日(火)～

○農園活動(1～4年)

春に植えたサツマイモを収穫します。今年のできはどうか？



押上小がこんな学校に…

だれもが安心して力を出し、
みんなが幸せを感じる学校



10月31日(木)

○ガンブラアカデミア(5年)

プラモデルメーカーの協力で、プラモデル作りを通して日本のものづくり産業を学びました。



※学校ホームページも、少しずつ記事を更新しています。よろしければアクセスください。

